



国際ロータリー第 2670 地区

高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



Weekly Report 2016-2017

創立	1969年4月14日
承認	1969年4月23日
チャーターナイト	1969年11月9日
発行	IT・広報委員会

会長	鏡村 泉	原上 谷	良義 正	則憲 紀
副会長	エレクト 泉	藤 遠	直 樹	樹 康
幹事	S.A.A	稲 井	伯	



今週のプログラム	第 2298 回	10月21日
メンターデイ「ロータリーよもやま話・出席について」加藤会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2297 回	10月14日
慰労会		
担当者	職業奉仕委員会・親睦活動委員会	例会場 ボワ・エ・デュボン



鏡原会長報告



司会は遠藤副幹事



インセッションスピーチ:松木会員



例会風景

会長報告

・今回は古くからの知り合いのボワ・エ・デュボンの木場料理長様の所での慰労例会という今までにない企画にさせて頂きました。皆様楽しく会食をなさして下さい。また、日帰り旅行も決まりました。多数の御出席をお願いします。

委員会報告

- ・石井親睦活動委員長より
11月4日(金曜日)高松グリーンRC合同例会です
PM6:30より天勝本店にて(一次会)
スナック岡ものにて(二次会)
- 11月27日(日曜日)日帰家族旅行に参ります
倉吉・羽合温泉方面にカニを食べに参ります

メイクアップ

- 9月24日 米山協議会・懇親会 岡田(定)
- 10月12日 坂出東RC 石井 岡田(和)
- 10月13日 高松グリーンRC 岡田(定)



ビジター


高松東RC 木場 巳雄 様

出席報告		出席委員長: 浅原尚彦	
会員数 /	52名	出席規準数 /	48名
出席者数 /	25名	欠席者数 /	23名
出席率 /	52.08%	ビジター /	1名
最終出席率 /	9月30日	57.14% →	81.63%

10月21日 今日は何の日	今日生まれの有名な人
あかりの日・国際反戦デー・秋の土用入り	1978年 大江麻理子 1894年 江戸川乱歩
1800年 伊能忠敬、全国地図の作成開始	1959年 渡辺謙 1833年 A. ノーベル
1879年 エジソン、白熱電球を完成	1947年 蛭子能収 1684年 徳川吉宗
誕生花	キンモクセイ、花言葉は“陶醉”
誕生石	ムーンストーン(moonstone)、宝石言葉は“純粋な愛”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に榮えよ 我等のロータリー



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日: 毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)
今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2015pdf/10-21.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX	
妻にプレゼントを頂いて。	古家
スピーチをさせて頂きました。	松木
先週、今期初の客話。各位御協力ありがとうございました。	磯崎
四国大会、仕事にて参加できなくなりました。	藤田
がんばってください。	
遅刻	1件
合計 5 件	
本日の合計	12,500円
2016-2017年度累計	385,500円

例会変更	
10月19日(水)	善通寺RCは10月21日(金)19:00中津万象園/懐風亭:新入会員歓迎夜間例会に変更
10月20日(木)	高松グリーンRCは18:00高松市総合体育館/和弓場:スポーツの秋!ちよこっと健康管理に変更
10月26日(水)	高松南RCは18:30高松センチュリーホテル・新入会員歓迎会に変更
10月26日(水)	善通寺RCは四国少年院:職場訪問例会に変更
10月28日(金)	小豆島RCは小豆島中央病院に変更
10月31日(月)	高松北RCは高松国際ホテル/グリル屋島に変更
11月 4日(金)	高松西RCは天勝本店:高松グリーンRCとの合同例会に変更
11月 4日(金)	さぬきRCは休会

イニシエーションスピーチ (2016.10.14)	
松木 裕之	
高松西ロータリークラブの皆様、今日は「鉄道の日」です。このような日にスピーチの機会を与えてくださってありがとうございます。今日は私の「仕事」についてお話ししたいと思います。	
今の私の主な担当業務は、線路や構造物、電気設備などの鉄道の地上インフラの新設、維持管理ですが、その中で、私が昭和60年に国鉄に入社して以来、長く携わってきたのが「保線」です。保線とは、文字通り線路を保守することです。	
線路は、レールと枕木と道床バラストできていて、列車を安全に走行させるために支えるのが主な役目です。線路は、列車が走るたびにほんの少しずつゆがんだりずれたりするのですが、それを直して元通りにする、という作業を繰り返しています。また、すり減ったレールを交換したり、傷んだ枕木を交換したりしますが、作業は主に、列車が走っていない深夜から未明にかけて行います。最近では、線路への負担を減らしたり、乗り心地の向上、騒音振動の軽減を目的として、	

レールの間の継ぎ目をなくして1本の長いレールにする「ロングレール化」にも取り組んでいます。

線路を直すためには、最近では大型の機械を使うことが多いのですが、主要な機械は、意外にもオーストリア製が多いです。日本国内では、オーストリア製やイタリア製、スイス製などが大きなシェアを占めています。

保線は一般の方との接点の少ない地味な仕事ですが、列車の安全運行に欠かせない重要なポジションで、私も誇りを持って携わってきました。皆様も、今度列車に乗るときには多少線路のことを気に留めていただければうれしく思います。

10月・ロータリー特別月間	
経済と地域社会の発展月間 (Economic and Community Development Month)	
2014年10月RI理事会は、重点分野である「経済と地域社会の発展月間」である10月を、貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。	
米山月間 (Yoneyama Month)	
クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をする。そのために米山方学生や地区役員・委員の卓話を聞き、さらに奨学生から提供される資料を基にクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されている。 「米山月間」は日本国内地区のみである	

成功者と成幸者・12		会長 鏡原良則
成功者は亡くなった時に輝きが終わり、 成幸者はなくなった後から輝きを増す。		
成幸者多くのは、自分の人生をかけて没頭した何かを持っているようです。それくらいの勢いで何かに打ち込むと、必ず何かが残ります。そしてそのことは、その人が亡くなってからも語り継がれるのです。そして又、亡くなってからも、ますます輝いていくのです。		
あなたの死んだ後、この世に残るものは何ですか？		

facebook	
facebookでたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。 http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC	

次週のプログラム		第 2299 回	10月 28日
卓話:「ベトナムの紹介と私の将来」米山OB会 ブイ コーク フィ さん			
担当者	米山奨学委員会	例会場	JRホテルクレメント高松